

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	研修内容の充実(保育所)						掲載ページ		
							94		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		2,115	千円	2,986	千円	施策名	就学前教育	担当課	保育課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	施設長や保育士等の資質向上のため、北九州市社会福祉研修所の研修について、その効果を検証しながら内容等の検討を行い、一層の充実を図ります。具体的には相談技術、児童虐待問題、情報化や国際化等の研修を充実します。また、市内外で行われる専門研修に積極的に参加します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	新任・中堅・主任級研修や課題別(言葉・表現・健康)研修、保育ゼミナール、乳児保育、統合保育、カウンセリング研修、心理学、施設長研修等全17項目を、延べ日数108日、参加人数2,300名で実施します。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)		【活動の状況】	
	施設長や保育士等の研修の実施						
	社会福祉研修所において、新任・中堅・主任級研修や課題別(言葉・表現・健康)研修、保育ゼミナール、乳児保育、統合保育、カウンセリング研修、心理学、施設長研修等全17項目を実施します。 (最終目標と最終年度)	108 日	108 日	108 日 100.0 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	(最終目標と最終年度)				順調 やや遅れ 遅れ	順調	

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	計画した17項目(延べ日数108日 参加人数2,300名)の研修を年度内に履修しました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか、また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	北九州市福祉事業団に委託された社会福祉研修所は、長年の実績があり優れた研修のノウハウを持っています。同コストで今まで以上の研修を企画・実施することは困難と考えます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
現在の研修項目を時代のニーズに応えるべく、見直しをしながら企画・計画を立て、内容の充実を図ります。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	児童福祉施設等第三者評価事業						掲載ページ		
							94		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		1,885	千円	3,672	千円	施策名	就学前教育	担当課	保育課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	保育所や児童養護施設等について、より適切な情報の提供やサービスの質の向上を図るため第三者評価事業の一層の普及を図ります。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	保育所や児童養護施設等について、より適切な情報の提供やサービスの質の向上を図るため第三者評価事業の一層の普及を図ります。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】	
	「第三者評価事業」参加施設数（総数）	124 / 157 施設 (79%)	158 施設	137 施設 86.7 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	「第三者評価事業」参加施設数を指標として掲げました。 (最終目標と最終年度)参加施設数の増加(平成26年度)						
	「第三者評価事業フォローアップ研修会」開催	実施	実施	実施	順調 やや遅れ 遅れ	順調	
市内認可保育所の施設長、保育士を対象に「第三者評価事業フォローアップ研修会」を開催し、「北九州児童福祉施設等評価基準（保育所編）の活用について理解を促進し、事業参加への動機付け及び保育の質の向上を図っています。 (最終目標と最終年度)							

【Check】評価(分析)		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。  「第三者評価事業フォローアップ研修会」を開催しました。(平成23年6月28日) 市内認可保育所について、通常評価13施設、再評価(三年次評価)9施設の第三者評価を実施しました。 本事業は、事業者の提供するサービスの質の評価を行うとともに、サービスの利用を予定している方に対して適切・円滑にサービスを利用できるよう情報提供を行うものであり、その有効性は高いと考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか、また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  本事業は低コストで経済的・率的に実施しており、コスト削減は困難です。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
未参加施設への事業参加を積極的に促し、第三者による評価を通して、保育所のサービスの質の向上と利用しようとする方への情報提供を行います。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	幼児教育の振興						掲載ページ		
							94		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	教育委員会
		233,014	千円	235,455	千円	施策名	就学前教育	担当課	企画課

【Plan】計画				【Do】実施	【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	学校教育法では、「幼稚園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うもの」と位置づけられています。また、市内の幼稚園児の98%が私立幼稚園に通っている現状から、本市の幼児教育における私立幼稚園の果たす役割はますます重要となっています。そこで、私立幼稚園における幼児教育の振興と保護者の経済的な負担の軽減を図るため、私立幼稚園に対して助成を行うものです。			活動実績	幼児教育の振興の為、私立幼稚園に対する助成を拡充しました。新たなメニューであるAED設置推進事業では80園がAEDを設置し、園庭芝生化モデル事業では4園が芝生化を実施しました。こうした新規事業及び既存事業の実施により、幼児教育の振興に寄与しました。
活動計画	平成23年度においては、AED設置推進事業、園庭芝生化モデル事業など、補助メニューを拡充し幼児教育の一層の充実を目指します。実施にあたっては、各園に補助金を交付します。また、教諭の資質向上、技術向上を図るため、カウンセリング・統合保育研修を実施します。					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】	
	カウンセリング・統合保育研修参加者	32 人	60 人	25 人 41.7 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	
	研修に参加することにより、教諭の資質、技術の向上につながるため、指標としました。 (最終目標と最終年度)平成25年 全園					
	(最終目標と最終年度)				活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック <b>順調</b>	

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成23年度において、全園(95園)が補助金を活用しており本市の幼児教育振興に大変寄与しています。 ・AEDの設置は80園が実施、園庭芝生化の実施は4園と幼児教育環境の充実に寄与しました。 ・北九州市私立幼稚園振興助成補助は全園が利用、施設の設定整備や備品・教材購入等に充てられており、幼児教育環境の整備に役立っています。 ・特別な支援を要する園児支援事業については、平成19年度 23人、平成20年度 29名、平成21年度 21名、平成22年度 17名、平成23年度 10名の申請がありました。これは、県の補助金の対象とならない幼稚園に対し補助を行うものであり、障がいを持つ園児の受け入れの拡大に寄与しています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	カウンセリング・統合保育研修は保育士と合同で、新採研修等は公立幼稚園と合同で実施するなど経済的、効率的な事業実施に努めています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
今後も、幼児教育や子育て支援がますます重要になっていくと考えており、私立幼稚園への助成制度の充実を図るとともに、私立幼稚園連盟を通じ各園に対して研修の参加を働きかけます。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	私立幼稚園における学校評価の実施						掲載ページ		
							94		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	教育委員会
		0	千円	0	千円	施策名	就学前教育	担当課	企画課

【Plan】計画				【Do】実施	【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	幼児がより良い教育を享受できるよう、学校評価を通して、学校の教育活動その他の学校運営の改善を図ることが必要です。また、評価結果等を広く保護者等に公表することにより、地域に開かれた学校づくりを行っていく必要があります。			活動実績 活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	学校評価を実施するよう、北九州市私立幼稚園連盟を通じて周知を図ります。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】	
	幼稚園の自己評価の実施 平成20年度から幼稚園は、教育活動その他の幼稚園の運営状況について自己評価を行い、その結果を公表することが法令上義務付けられているため、全園で実施する必要があることから、目標として設定しました。 （最終目標と最終年度）25年度 全園	58 園	95 園	62 園 65.3 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	自己評価に対する関係者評価の実施 幼稚園自身の評価だけでなく、外部の評価も必要と考えており、概ね8割程度の実施を目指します。 （最終目標と最終年度）25年度 80園	22 園	80 園	20 園 25.0 %	順調 やや遅れ 遅れ	

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	学校評価を通して、学校の教育活動その他の学校運営の改善を図ることが必要であり、平成23年度は平成22年度に比べ4園増加しました。今後とも学校評価の実施を働きかけていく必要があると考えています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	各幼稚園内部における自己評価等のため、事業費は生じていません。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
私立幼稚園連盟の総会や研修会の機会をとらえて、啓発に取り組みます。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	新しい時代に対応した公立幼稚園における教育の推進						掲載ページ		
							95		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	教育委員会
		0	千円	0	千円	施策名	就学前教育	担当課	企画課

【Plan】計画				【Do】実施	【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	幼児教育の充実を図ることを目的として、全市的に取り組むべき課題解決に向けた検討を行います。 特に、「小学校教育への円滑な接続を見通した発達段階に応じた幼児教育の在り方」、「特別な支援を要する子どもたちに対する教育の在り方」等について重点的に取り組みます。 また、公立幼稚園の適正配置も併せて検討します。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動計画	公立幼稚園が果たすべき役割等、公立幼稚園の在り方について検討を行います。					
活動指標	<b>指標</b> （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】	
	公立幼稚園のあり方の検討	検討		検討	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック 大変順調	
	公立幼稚園が果たすべき役割等についての検討を行います。 （最終目標と最終年度）					順調 やや遅れ 遅れ
（最終目標と最終年度）						

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	国の動向の把握及び他都市の状況調査を行い、教育委員会内で、公立幼稚園が果たすべき役割等、公立幼稚園の在り方についての検討を行いました。 また、公立幼稚園において研究実践活動を行うとともに、その成果を各研修会等で発表するなど、教育内容の充実及びその普及に努めました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	経済的、効率的な事業実施に努めています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
今後も、幼児教育に係る国の動向を注視しながら公立幼稚園が果たすべき役割等、公立幼稚園の在り方についての検討を行っていきます。